

米奥小だより

令和7年12月1日（月）

No.32

米奥小学校 校長 北添 忠

○緊急地震速報訓練

11月5日（水）の午前10時に、全国一斉の緊急地震速報訓練が行われ、町内にも訓練放送が流れました。米奥小学校では、それに合わせて、身を守る訓練を行いました。あらかじめ訓練放送があることを児童に知らせていましたので、2校時の授業中でしたが、



児童はすぐに机の下に入り、身を守る姿勢を取ることができました。放送が終わって、担任から声がかかると児童はヘルメットをかぶり椅子に座りました。本当に地震が起きた時には、揺れがおさまったらすぐにヘルメットをかぶりグラウンドへ避難しますが、今回はヘルメットをかぶるところまでの訓練でした。担任から話があり、訓練は終了。通常の授業に戻りました。

写真の通り、1，2年生は机の下に身体全部が入り、身を守る姿勢が取れました。5，6年生になると、身体が成長し、机の下に入るのは頭から肩くらいまでの児童が多くなります。その場合は、対角線上にある机の脚を手で持って、揺れに対処します。

南海トラフ大地震は必ず来るので、年間3回以上の地震対応訓練をこれからも行っていきます。

○不審者対応訓練

11月21日（金）に、不審者対応訓練を行いました。窪川警察署の方が不審者になりきって、学校の玄関から入ってくるという想定で行いました。大切な事は「児童が気づかれずに校外へ避難する」「教職員が連携して、警察官が到着するまで不審者の動きを確認し、児童に近づけない」です。

今回は、児童に不安を与えないように、あらかじめ訓練の実施を予告していたこともあり、児童らは



非常階段などを使って静かに城ハナ公園に避難できました。不審者役の方や評価のために一部始終を見ていた警察官も「児童がいつのまに避難したのか気づかなかった。非常階段のつくりのおかげもあり、たいへん素晴らしい避難でした」と児童

の動きをほめてくれました。また、教職員の動きについても、「最初こそ不審者との距離が近すぎ危険だったが、その後は連携して不審者の動きを確認できていたこと、不審者が包丁を出したときに、気づいた職員が大声でそのことを周りに伝えたことが良かった」と言ってくれました。

米奥小学校は城ハナ公園やツリーハウスの公園に隣接していることもあり、地元の方や観光に来られた方が学校の敷地内によく入ってきます。先日はアメリカから観光に来られた方々が河原から敷地内に上がってきて「いいところですね～」などと言ってくれました。不審者が来ることはめったにないことですが、言動が普通ではない来校者にそなえて、訓練を行いました。

〇おもちゃまつり

11月19日（水）に1.2年生の音読集会が行われた後、1.2年生が企画、準備したおもちゃまつりが行われました。4～6年生と音読集会を見に来ていた保護者が招待



され、1.2年生がつくったおもちゃで遊びました。魚釣りやミニボーリング、ペットボトルのふたがタイヤのおもちゃをうちわで扇いで競争するものなど6種類くらいのおもちゃが用意されていました。1.2年生は遊び方を説明し、みんなに実践してもらいながら、楽しい空間と時間を作ってくれました。